

UNION NEWS

<https://www.jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

E-mail sodan@jrtuor.jp

東京本部 〒108-0075 東京都港区港南2-1-95 (03)6718-1251

JR東海品川ビル5階 名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 鈴木 賢二

2022年末手当交渉

支給月数2.7箇月で妥結!

～「経営体力の再強化」に向け「ONEチーム」で取組んでいこう～

JR東海ユニオンは、「支給月数2.9箇月」とする要求を会社に入入れ、この間鋭意労使協議を積み重ねてきた。

交渉において会社は、JR東海ユニオン組合員の尽力と社業への貢献に感謝の意を示しつつも、未だ経営は回復の途上であり、様々なリスクにより先行きが不透明であるという見解を示した。

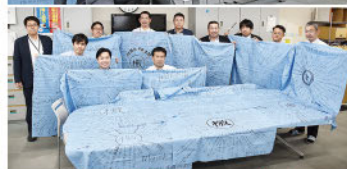
一方ユニオンは、黒字化を果たした中での「安定支給ベース」にこだわって議論を展開し、「生活給としての意味合いが強いこと」や、「高位支給による離職防止」について議論を深めるとともに、組合員の日々の努力が、上期の堅調な輸送の土台にあったことを強く主張した。

そして11月10日、会社から「支給月数2.7箇月」という回答が出された。この回答は要求月数には届かなかったが、様々な経営上のリスクを抱える中でも、「安定支給ベース」の重みを認識した上で出された支給月数であり、組合員の頑張りに報いる誠意ある回答であると判断し、妥結した。

JR東海は今、一人ひとりの組合員の懸命な努力により大きく回復を遂げている。我々が「ONEチーム」となり、グループと一体となって安全・安定輸送および各種サ

ービスの提供に尽力し、私たちが自身の手で業務改革を始めとする社業を支え、盛り立てていこう。

あらためて、交渉を力強く支えていただいたすべての組合員とご家族に深く感謝を申し上げます。



多くの組合員からの激励に感謝いたします

経営協議会(経営体力の再強化)で業務改革について深く議論!

11月14日、「経営体力の再強化」のプレスを受け、経営協議会を行った。経営協議会では、具体的な取組内容を確認し、施策の実施に際しては「安全の確保」「雇用の確保」「大規模な系統間異動の回避」「輸送力の確保(経営の安定)」の4点を守るよう会社に強く求めた。また「業務改革」の取組みを通じて鉄道現業部門の要員規模が2,500人程度減少するとの想定に対して、各施策の成案が固まり次第提示するよう要請するとともに、全職場総対話行動の意見を踏まえ、各地本と各鉄事・支社の間

JR東海ユニオンは、今後も労使協議を通じた経営のチェックを不断に行っていく。

